

2022年3月7日
株式会社データ・アプリケーション

Press Release

Web-EDI 製品「ACMS WebFramer」とそのオプションの最新版 V1.9 を発売

～メール送信機能においてよりセキュアな先進認証（OAuth 2.0 認証）に対応～

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：安原 武志、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、Web-EDI 基盤の ACMS WebFramer（エーシーエムエス ウェブフレーマー）と、そのオプションの 2 製品、ACMS WebFramer Web アプリケーション構築支援ツール（以下、AWFTOOL）および ACMS WebFramer 電子機器業界調達業務向け Web-EDI テンプレート（以下、EIAJ テンプレート）のバージョン 1.9 を 2022 年 3 月 7 日より発売を開始します。

2024 年 1 月に切り替えがはじまる固定電話の IP 網への移行（PSTN マイグレーション）により、企業は従来型 EDI からインターネット EDI への移行を余儀なくされています。DAL では、この移行においてエンタープライズ・データ連携基盤 ACMS Apex や B2B サーバ ACMS B2B をベースとしたインターネット EDI への切り替えを提案しています。また、取引量の少ない中小規模の企業との取引向けには、Web ブラウザベースの Web-EDI を容易に構築できる ACMS WebFramer を提案し、インターネット EDI と Web-EDI との統合運用管理より企業間商取引業務の効率化を推進しています。

様々なソフトウェアやサービスにおいてセキュリティ強化が進む中、マイクロソフト社 Exchange Online や Google 社 Google Workspace は、ユーザ認証方式を基本認証からよりセキュアな先進認証：OAuth 2.0 認証への切り替えを予定^{※1,2}しています。今回の ACMS WebFramer の最新版では、これらのメールサービスを利用し取引先や社内担当者などへメール送信する場合に、この先進認証：OAuth 2.0 を利用できるように対応しました。加えて、Contents Security Policy（CSP）にも対応し、サーバサイドから Web ブラウザに対してコンテンツの使用ポリシーを伝えて各種 Web 攻撃を回避することが可能となりました。

また、ノーコードツールとしての AWFTOOL の最新版では、自動生成される取引先向け業務画面において、登録ボタン押下後の確認ダイアログ表示による誤操作防止や項目数の多い明細レコードの複数行表示での視認性の向上、ダウンロード・印刷操作日時での業務処理対象データの容易な特定を可能にしたなど、幅広い範囲でのエンハンスを行い操作性・業務運用性を向上させました。

※1 Microsoft Basic Authentication and Exchange Online – September 2021 Update

<https://techcommunity.microsoft.com/t5/exchange-team-blog/basic-authentication-and-exchangeonline-september-2021-update/ba-p/2772210>

※2 Google Turning off less secure app access to G Suite accounts

<https://workspaceupdates.googleblog.com/2019/12/less-secure-apps-oauth-google-username-password-incorrect.html>

<https://workspaceupdates.googleblog.com/2020/03/>

■ACMS WebFramer バージョン 1.9 の主な新機能は以下の通りです。

- ・メール送信機能での先進認証 OAuth 2.0 への対応
- ・Content-Security-Policy(CSP)への対応
- ・新たなデータベースへの対応：PostgreSQL 14

■ACMS WebFramer Web アプリケーション構築支援ツールバージョン 1.9 での主な追加機能は以下の通りです。

- ・ダウンロード日時や帳票印刷日時を指定してのデータ検索
- ・登録ボタン押下時の確認ダイアログを表示
- ・リスト選択後の Ajax 実行
- ・障害時のローディング画面の消去
- ・検索結果表示上限数の設定
- ・複数レコードでの入力値の論理チェック
- ・リスト型画面での 1レコード複数行表示への対応
- ・マスター設定時の送受信管理マスタメンテナンス画面での定義インポート
- ・新たなデータベースへの対応：PostgreSQL 14

DAL は、EDI の 2024 年問題を容易にかつ確実に解決する EDI ソリューションを提供し、インターネット EDI への移行や Web-EDI による取引業務効率化を推進するとともに、社内外のデータをシームレスに連携し、データの利活用を促進する企業のデジタルトランスフォーメーション (DX) を支えるデータ連携基盤を提供します。

◆ACMS WebFramer 製品について

◇販売・出荷開始：2022 年 3 月 7 日

◇販売価格：

- ・ ACMS WebFramer
買取モデル 200 万円
- ・ ACMS WebFramer Web アプリケーション構築支援ツール

買取モデル 100 万円

- ・ ACMS WebFramer 電子機器業界調達業務向け Web-EDI テンプレート

買取モデル 500 万円

◇販売経路：DAL のビジネス・パートナーを通じて販売しています。

ビジネス・パートナーは、<https://www.dal.co.jp/partner/>でご確認ください。

◇製品概要：

- ・ ACMS WebFramer

<https://www.dal.co.jp/products/webedi/webframer/outline.html>

- ・ ACMS WebFramer Web アプリケーション構築支援ツール

<https://www.dal.co.jp/products/webedi/awftool/outline.html>

- ・ ACMS WebFramer 電子機器業界調達業務向け Web-EDI テンプレート

https://www.dal.co.jp/products/webedi/eiaj_template/outline.html

◆株式会社データ・アプリケーション (DAL) について

DAL は、1992 年に UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI (電子データ交換) を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS (Advanced Communication Management System) シリーズ」を提供してきました。「ACMS シリーズ」は、国内の EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに 2,400 社 12,500 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

【HP】 <https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

| | |
|-----------------------|--------------------------|
| 報道関係 | お客様 |
| マーケティング本部 | 営業本部 |
| Tel : 03-6370-0909 | Tel : 03-6370-0909 |
| Fax : 03-3567-1151 | Fax : 03-3567-1151 |
| E-Mail : pr@dal.co.jp | E-Mail : sales@dal.co.jp |

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON、AnyTran、OCRtran

は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標または登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。